



<開催のご案内>

ソニー教育財団「ソニー子ども科学教育プログラム」
科学が好きな子どもを育てる教育実践論文 全国180の小・中学校より選ばれた「最優秀校」

**研究成果を発表する「子ども科学教育研究全国大会」開催
11月2日(金) 西尾市立西尾小学校(愛知県)**

記念講演: 日本大学生物資源科学部ウナギ学研究室 教授 塚元勝巳氏
後 援: 文部科学省、愛知県教育委員会、愛知県小中学校長会 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田昌夫)は、2017年度、「ソニー子ども科学教育プログラム」の教育助成論文で「最優秀校」に選ばれた西尾市立西尾小学校(愛知県、校長:清水文克)にて、優れた教育実践を公開・発信する「子ども科学教育研究全国大会」を開催します。



「ソニー子ども科学教育プログラム」の論文は、1959年にソニー創業者の井深大が始めた教育助成活動です。「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、小学校・中学校の理科や生活科の実践と、その考察に基づく計画を募集しています。2017年度は、全国から180校のご応募をいただきました。

今回、「全国大会」を行う西尾小学校は、本プログラムの審査委員長である御手洗 康氏(元文部科学事務次官)ら5氏による審査や、現地調査を経て、「最優秀校」を受賞しました。子どもたちの「豊かな感性」と「創造性」そして、「主体性」を育む取り組みや成果について、公開授業、研究発表などを通じ、全国の先生、教育関係者のみなさまに広くご紹介いたします。

子ども科学教育研究全国大会(公開授業・研究発表) 開催概要

西尾市立西尾小学校(愛知県)

研究主題: 「科学する子どもたち」～教科等横断的な学習を活かして～

開催日時: 2018年11月 2日(金) 9:00～16:30

会場: 西尾市立西尾小学校
愛知県西尾市錦城町162-1 Tel:0563-56-2266

時程: 【開会行事・研究発表】 9:00 ～ 9:30
【公開授業 I】 9:45 ～ 10:30
【公開授業 II】 10:50 ～ 11:35
【ポスターセッション】 12:30 ～ 13:30
【授業者と語る会】 13:50 ～ 14:35
【記念講演】 14:50 ～ 16:10

記念講演: 塚本勝巳氏/日本大学 生物資源科学部 海洋生物資源科学科 ウナギ学研究室 教授
演題「科学における運 偶然か 必然か ～40年のウナギ研究を例に～」

参加費: 無料

※ 開催についての詳細は、西尾小学校のホームページをご覧ください。学校に直接お問い合わせください。
<http://www.nishio.ed.jp/nishio-sho/index.html>

ソニー教育財団「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 最優秀校

西尾市立西尾小学校（愛知県）

テーマ：「科学する子どもたち」～教科等横断的な学習を活かして～

論文全文 (http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2017_sci_nishio.pdf)

【審査講評(抜粋)】

「科学が好きな子ども」を育てるために、「西小科学プロジェクト」を掲げて10年にも及ぶ取り組みを展開してこられました。校長先生を筆頭に代々の先生方の真摯な取り組みが実践を着実に深化させ、特色ある教育活動として結実しています。貴校の取り組みでは、地域の自然や人・もの、環境を活かした活動が教育計画に効果的に位置づけられ、学校全体の研究主題である「ふるさとを愛し、語れる子の育成」という教育目標と「科学が好きな子どもを育てる」実践を重ね合わせた取り組みとして理科・生活科・総合の学習の学習内容や展開に活かされています。

理科・生活科の授業づくりにおいては、地域や学校の自然に目を向けた問題解決の活動に加えて、「生活と結び付く単元構成の工夫」や「ワクワクする教材・教具の開発」など、子どもの追究意欲を高める教材を導入するなどの創意工夫を行った学習活動が積極的に展開されていることが評価されました。

■「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文 とは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただきます。

元文部科学事務次官の御手洗 康氏を審査委員長に、各界の専門家が実践、考察・評価、次年度計画について審査します。予備審査・中間審査を経て、「最優秀校」など上位の入選候補校に関しては現地調査も行います。

「最優秀校」は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。

詳しくは、ホームページをご覧ください：<http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/index.html>

■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深 大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも拡げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む『『科学する心』を見つけようフォトコンテスト』など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ：<http://www.sony-ef.or.jp/>